

古道・街道歩き

山陰道・老ノ坂峠越え

2025年3月12日

<参加メンバー> 5人(男性5人)

<天候> 曇りのち雨のち晴れ

<コースタイム>

- 9:20 JR丹波口駅
- 9:30 島原大門
- 9:40 葛野大路七条
- 11:00 桂大橋 12:10 昼食
- 13:00 沓掛 大枝神社
- 13:40 老ノ坂入り口
- 14:00 酒呑童子首塚
- 14:50 篠村八幡宮
- 16:30 亀岡駅

<山行の概要>

JR丹波口駅からJR亀岡駅までの約19キロメートルを山陰道(現9号線の旧道)沿いに老ノ坂を越えて歩いた。途中で雨に見舞われたが気温は12度あり暖かった。

山陰道は、京都から山陰地方を結ぶ五畿七道のひとつ。京都丹波口から亀山(亀岡の地名は廃藩置県までは亀山だった)を経て山陰に向かい、津和野、山口を経て小郡で山陽道に合流する。源義経、足利尊氏、本能寺の変の明智光秀などが戦地に向かうときに通った道として知られる。

昔の人が歩いた道であるとの感慨に浸れる道だった。首塚大明神にて酒呑童子に手を合わせた。鬼を拝んだのは最初で最後かもしれない。(S I)



1. JR京丹波駅にて次の目的地をチェック



2. 島原大門
1641年六条三筋町から移転



3. 移転時の騒動が島原の乱を想起したことより「島原」の名がついた



4. 角屋 現存する唯一の揚屋の遺構
国の重要文化財



5. 七条千本通入口「是より洛中荷馬口付のもの乗へからず」という道標があった



6. 権現寺
六条判官 源為義の塚がある



7. 桂大橋を渡る painting



8. 桂大橋の上から愛宕山(左の山)を望む



9. 愛宕山常夜灯



10. 道標「左 むかふ町、ながふ、ながおか、やなぎ谷」「右 西山御坊、よし峰、大原の、岩くら」



11. 本願寺西山別院(西山御坊)



12. 山陰道沓掛の道の様子



13. 沓掛 大枝神社 沓掛町の氏神



14. 老ノ坂に向かう途中の首塚大明神
源頼光が酒呑童子の首を埋めたとのこと



15. 老ノ坂峠



16. 篠村八幡宮 足利尊氏が願文を奉った



17. 亀岡市内 丹波亀山城高札所跡



18. 終点 JR 亀岡駅